

農中総研 2022年6月15日(水) オンラインセミナー 12:00 ~ 13:30

スマート農業の進展が もたらす功罪とは！？ ～農業の省力化・適正化vsノウハウ流出のリスク～

Oda Shiho

小田志保

調査第一部 主任研究員

農家が高齢化し、省力化のため先端技術を使ったスマート農業が重要となっている。スマート農業先進国の欧米では、先端技術で肥料や農薬の投入量が適正化し、環境負荷の軽減も報告されている。一方、スマート農業で、ほ場のあらゆるデータがインターネットを通じ、幅広く使われるようになる。データに所有権はなく、欧米の農家はその公正な取扱いを訴え、行動している。さらに集積したデータが流出してしまうと、日本農業の競争力を低下させてしまうという、経済安全保障上の問題もある。

スマート農業がもたらす光と影に注目し、日本農業のあるべき姿を考える。



Zoom開催

Zoomウェビナーによるオンライン開催

定員

先着500名

参加費無料

どなたでもご参加いただけます

申込URL・QRコード

https://zoom.us/webinar/register/WN_66lei-kRq6fy8AIDMbXpg



Contact

(03) 6362-7705
soumu@nochuri.co.jp
企画総務部 福田・高橋